



※お申込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

# ダイワ英国高配当株ファンド ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ

追加型投信／海外／株式

追加型投信／国内／債券



※課税上は株式投資信託として取扱われます。

投資者の皆さまへ  
(販売用資料)

目論見書のご請求・お申込みは…

## 大和証券

Daiwa Securities

〈販売会社〉

商号等 大和証券株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号  
加入協会 日本証券業協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会  
一般社団法人金融先物取引業協会  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用は…

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

〈委託会社〉

商号等 大和証券投資信託委託株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号  
加入協会 一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会

◆各ファンドの略称としてそれぞれ次を用いることがあります。

ダイワ英国高配当株ファンド:英国高配当株

ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ:マネー・ポートフォリオ

### 当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は大和証券投資信託委託株式会社が作成した販売用資料です。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡す「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。

- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。
- 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

(2014年4月)

# ファンドのポイント

## 1. 伝統と高い国際競争力を有する経済大国 – 英国

- 経済、文化の両面で世界をリードする英国には、長い伝統を有しながらも、高い国際競争力を誇る企業が多く存在します。
- 英国は、「先駆的な政策」や「地理的条件」、「ビジネスのしやすさ」などを背景に、世界中から「ヒト・モノ・カネ」を惹きつけています。

## 2. 上昇が期待される英国の高配当株式と通貨「ポンド」

- 先進国を中心とする世界景気の回復にともない、英国経済は今後も底堅い成長が見込まれます。
- 当ファンドは、堅調なパフォーマンスをみせる英国の高配当株式に投資し、高水準の配当収益を確保しつつ、株価上昇による値上がり益の獲得をめざします。
- また、経済ファンダメンタルズの改善にともない、英ポンドも今後の上昇が期待されます。

## 3. 「英国高配当株」と「マネー・ポートフォリオ」との間でスイッチング（乗換え）を行なうことができます。

- 「マネー・ポートフォリオ」の購入は、スイッチング（乗換え）による場合のみとなります。

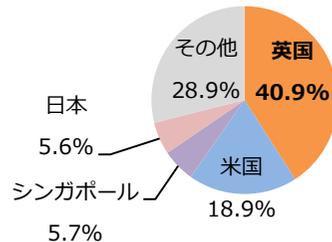


# 世界中から「ヒト・モノ・カネ」を惹きつける国 — 英国

- ヨーロッパの小さな島国 英国は、「先駆的な政策」や周辺大陸への容易なアクセスを可能とする「地理的条件」といった魅力を背景に、世界中から「ヒト（労働力）・モノ（企業）・カネ（資本）」を惹きつけています。



<外国為替取引量シェア (2013年) >



## ● 金融資本市場の開放

1980年代半ばに行なわれた金融規制の廃止、金融制度の自由化（ビッグバン）により、英国金融市場の活性化が進みました。

## ● 積極的な民営化

1970～80年代にかけて、さまざまな産業で国営企業の民営化が行なわれました。

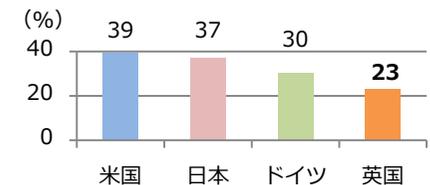
## ● 移民の受入れ

2000年に労働許可証の発給規制を緩和。その後、「高度技術移民受入れプログラム」が導入されるなど、積極的な移民政策が推進されています。

## ● 巨大市場への容易なアクセス

英国は、ユーラシア大陸、アフリカ大陸、アメリカ大陸の中心に位置しており、重要な輸出・生産拠点としての魅力が見直されています。

<各国の実効法人税率 (2013年) >



※2014年より、英国の実効法人税率は21%に引き下げられました。2015年からはさらに引き下げられる予定です。

## ● 低い実効法人税率

英国の実効法人税率は各国と比較して低い水準にあります。

## ● 母語が英語

母語は英語のため、グローバルビジネスにおける言葉の障壁はほぼありません。



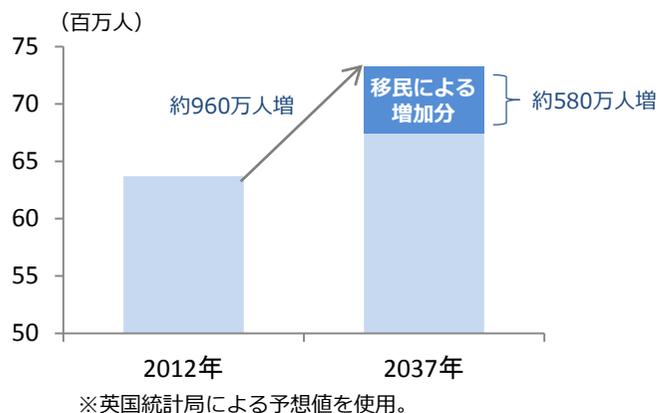
(出所) 国際決済銀行 (BIS)、OECD、各種資料

# 寛容で柔軟性のある国 — 英国

- ヒト：英国は、人口増における移民のインパクトが大きく、人の往来も活発です。
- モノ：政策や経済・地理的環境に魅力を感じる外資系企業の進出が多く、対内直接投資も先進国の中でトップクラスです。
- カネ：ロンドンに住宅を保有するというステータスなどから、海外からの住宅市場への資金流入も増えています。

## 世界から人を集める英国

英国の予想人口推移



## 国際線利用者数ランキング

(2013年12月時点、過去12カ月)

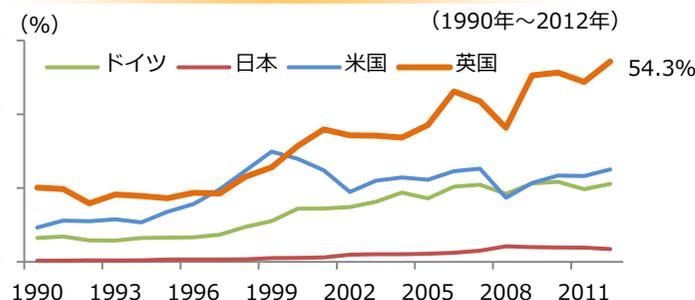
順位	空港名	所在都市	利用者数
1	ヒースロー空港	ロンドン	6,668万人
2	ドバイ国際空港	ドバイ	6,587万人
3	香港国際空港	香港	5,929万人
4	シャルル・ド・ゴール国際空港	パリ	5,676万人
5	チャンギ国際空港	シンガポール	5,277万人

## 英国へ進出する外資系企業

海外企業による対英ビジネスの例

- **日産自動車 (日本)**
  - ▶ 英国国内工場における生産台数は50万台超。英国で生産される自動車の3台に1台が日産製。
- **カルビー (日本)**
  - ▶ 欧州最大のスナック菓子市場である英国に参入するため、2015年より現地での事業を開始予定。
- **フィアット・クライスラー (イタリア)**
  - ▶ 本社機能を英国に移転。

## 各国の対内直接投資額(対GDP比)の推移

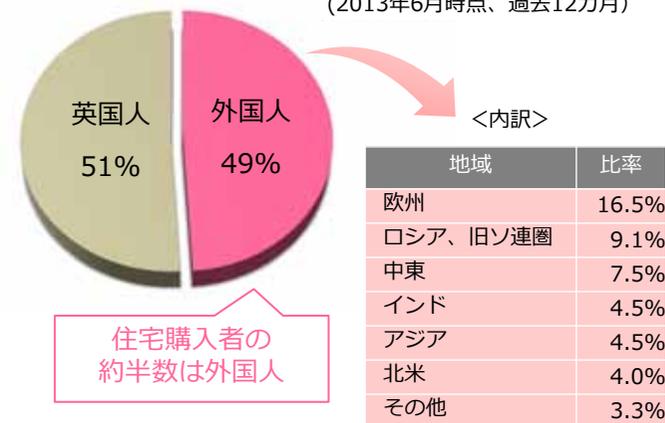


(出所) 英国統計局、国際空港評議会、全米不動産業者協会、UNCTAD、Knight Frank、各種資料

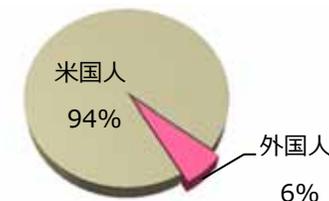
## 海外マネーの流入

ロンドン中心街の住宅購入者の比率

(2013年6月時点、過去12カ月)



(参考) 米国の場合 (2013年3月時点、過去12カ月)



# 伝統とグローバル化を両立し、高い競争力を誇る英国企業

下記の企業はあくまでも参考のために掲載したものであり、個別企業の推奨を目的とするものではありません。  
また、ファンドに今後組入れることを示唆・保証するものではありません。

- 英国企業は、大航海時代からの貿易の歴史や国家による先駆的な政策により、金融や資源、消費などの分野で世界をリードしてきました。近年は、海外市場、特に先進国を中心に収益を獲得しており、高い国際競争力を誇る企業が多く存在します。

## 英国の歴史

### ～時代の先駆者、英国～

産業革命を経て、資本主義大国となった英国。その後は、金融を主産業とする方針へ転換し、「世界の銀行」と呼ばれるまでになりました。さらに金融のビッグバン等を経て、現在では世界有数の国際金融センターになっています。

18世紀後半

産業革命

世界初、蒸気機関の実用化



鉄道の開通

19世紀

世界の工場

自由貿易主義



19世紀後半～20世紀

世界の銀行



## 英国企業の特徴

### 歴史ある産業

#### <英国の主要産業とその歴史>

金融	<p><b>古くからの貿易取引が、現代の国際金融の基礎</b></p> <p>貿易資金の管理業務は銀行業を発展させ、海上輸送に伴う海上保険へのニーズが保険業を発展させました。</p>
資源	<p><b>英連邦に属する資源国の存在が資源関連企業の発展に貢献</b></p> <p>豊富な資源を有するオーストラリア、南アフリカ、カナダの存在が資源関連企業の競争力を高めました。</p>
消費	<p><b>古くから、高い資本力を背景に積極的に海外市場へ進出</b></p> <p>英国企業は古くから、その高い資本力を生かして海外市場を開拓し、ブランドを形成してきました。</p>

### 高い国際競争力

#### <多国籍企業の海外資産ランキング (2012年)>

##### ■ 非金融部門

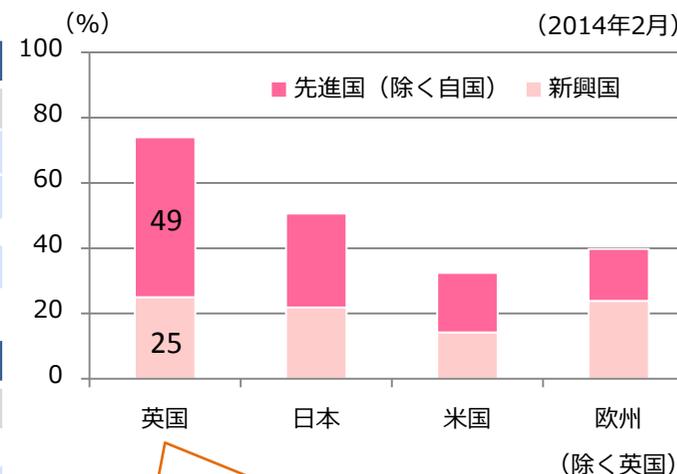
順位	企業	所在国
1	ゼネラル・エレクトリック	米国
2	ロイヤル・ダッチ・シェル	英国
3	BP	英国
⋮	⋮	⋮
7	ボーダフォン・グループ	英国

##### ■ 金融部門

順位	企業	所在国
1	アリアンツ	ドイツ
⋮	⋮	⋮
5	HSBCホールディングス	英国
⋮	⋮	⋮
10	スタンダード・チャータード	英国

### グローバル化の成功

#### <主要国・地域企業の海外売上高比率>



英国企業は、主に先進国の売上高比率が高くなっています。

(出所) UNCTAD、ブルームバーグ、各種資料

# 伝統と歴史が息づく国 — 英国

■ 英国は、伝統と格式を重んじながらも、常に文化の発信地として世界をリードしています。

## 英国の基礎情報

正式名称	グレートブリテン及び北アイルランド連合王国
面積	24.3万km <sup>2</sup>
人口	63.1百万人（2013年、推計値）
首都	ロンドン
通貨	スターリング・ポンド
言語	英語（ほか）
政体	立憲君主制
名目GDP	2兆5,358億米ドル（2013年）
主な輸出品目	原油・石油製品、自動車、医薬品、発電機

## 紅茶文化の国

### 紅茶文化のはじまり

・ 17世紀に英国にもたらされた紅茶は、貴族だけで楽しむ貴重品でした。やがて産業革命により国内が豊かになると、庶民にも広まり、さまざまな紅茶文化が生まれました。

### アフタヌーンティー

・ 朝食と夕食の習慣しかなかった貴族が、中食にしたのが始まり。その後は社交用の茶会として定着しました。華やかなテーブルでスコーンやケーキとともに優雅に紅茶と会話を楽します。



世界5大ウイスキーの1つ  
「スコッチ・ウイスキー」



ゴルフの聖地  
「セント・アンドリュース」



ロンドン名物  
「ダブルデッカー」



英国を彩る  
イングリッシュ・ガーデン



バッキンガム宮殿を  
護る衛兵



スコットランド

北アイルランド

イングランド

ウェールズ

首都  
ロンドン



国会議事堂の時計塔  
「ビッグ・ベン」



世界屈指の国際金融街  
「シティ」



## 伝統ある英国王室

### 長い歴史

・ 英国王室は非常に長い歴史を有しています。その長さは1,000年ほどともいわれており、世界でも有数の伝統ある王室です。

### 開かれた王室

・ 近年の英国王室は宮殿の一般公開やさまざまな王室関連グッズを販売するなど、国内外に向けて身近な王室をアピールしています。

## 世界に誇る英国

### 高い教育レベル

＜英国の著名な大学＞  
ケンブリッジ大学  
オックスフォード大学

### 多彩な芸術文化

＜英国出身の文化人＞  
ウィリアム・シェークスピア  
チャールズ・チャップリン  
ザ・ビートルズ

### スポーツの国

＜英国発祥のスポーツ＞  
ゴルフ、サッカー、ラグビー、クリケット

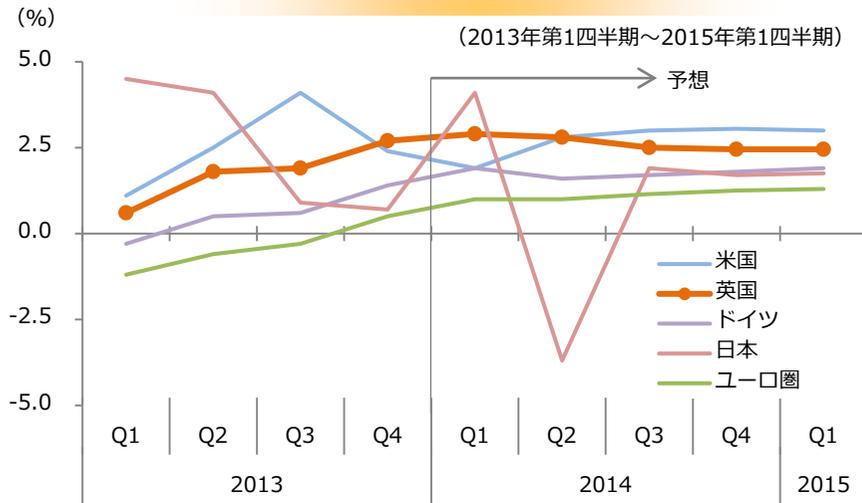
（出所）外務省、IMF「World Economic Outlook Database April 2014」、各種資料

# 底堅い成長をみせる英国経済

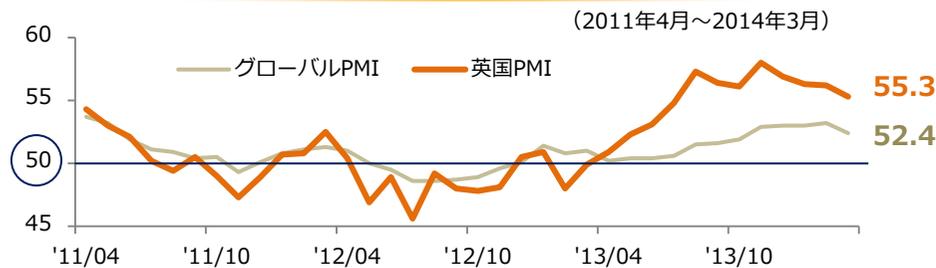
- 今後、底堅い景気が見込まれる先進諸国の中でも、英国は米国に次ぐ高い成長を維持することが予想されており、世界に先行して景況感（PMI）が好転しています。
- 特に、堅調な住宅市況が消費活動を刺激し、内需をけん引しています。

## 堅調な成長が見込まれる英国経済

主要先進国・地域の実質GDP成長率



英国とグローバルのPMIの推移

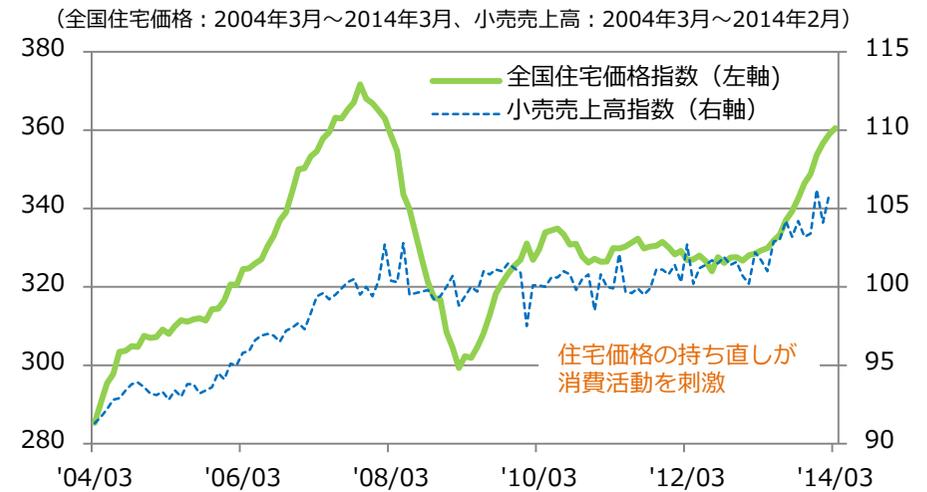


<ご参考> PMIとは

PMI (Purchasing Managers Index) は、ここでは製造業企業の購買担当者を対象として、新規受注や生産、雇用等に関するアンケート調査結果を指数化したものです。一般に50を上回ると景気拡大、下回ると景気後退を示唆するといわれています。

## 堅調な住宅市場と消費

全国住宅価格と小売売上高の推移



## 政府による支援策

### 住宅購入支援制度

- ① 新築住宅の購入者を対象に政府が低金利で融資する住宅ローン制度 (2016年3月末まで)
- ② 住宅ローンの一部を政府が保証する制度 (2016年12月末まで)

### 貸出促進制度

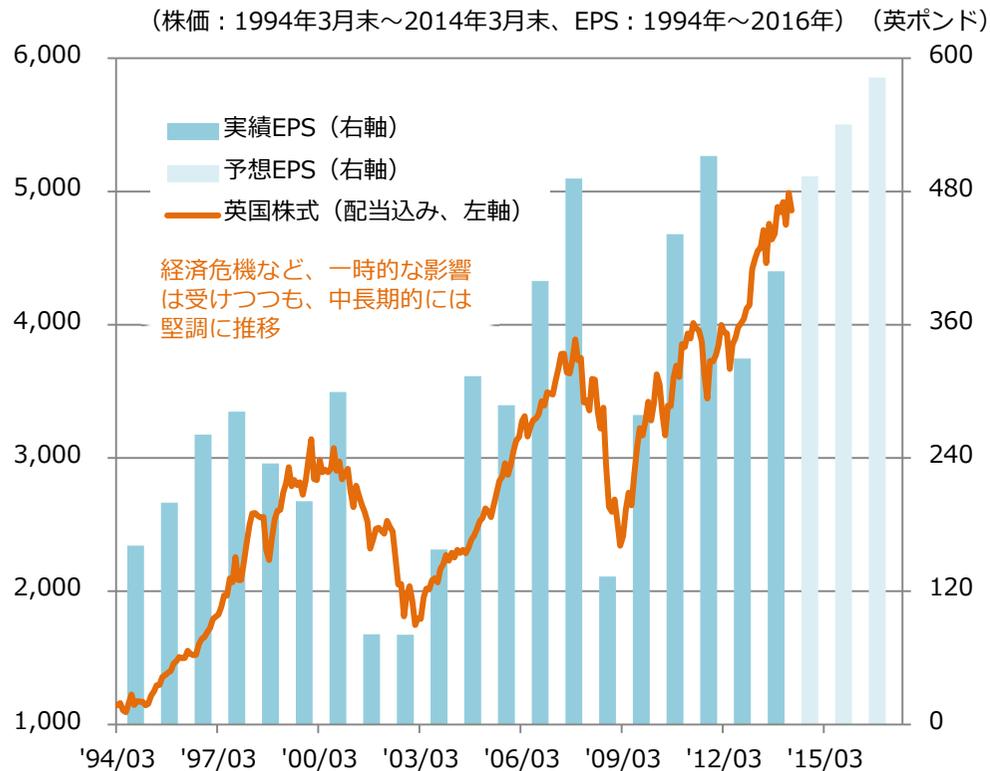
2012年7月に開始。銀行の資金調達コストを実質的に抑える支援制度で、融資拡大を促進しようとするのが狙い。

(出所) ブルームバーグ、各種資料

# 今後の上昇が期待される英国株式 ①

- 英国株式は、中長期的におおむね良好なパフォーマンスをみせており、今後も利益成長にともない堅調に推移していくことが期待されます。
- また、今後、先進国主導の景気回復が見込まれるなか、英国の外需産業はその恩恵を受けるかたちで、成長することが期待されます。

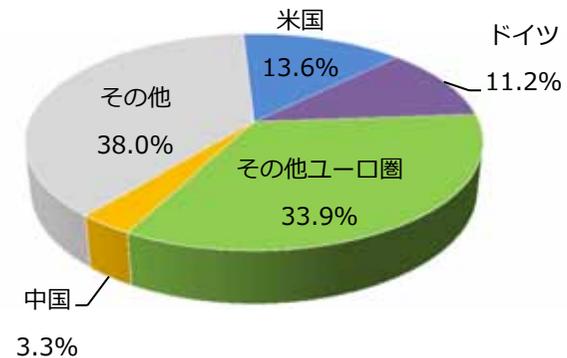
## 英国株式とEPS（一株当たり利益）の推移



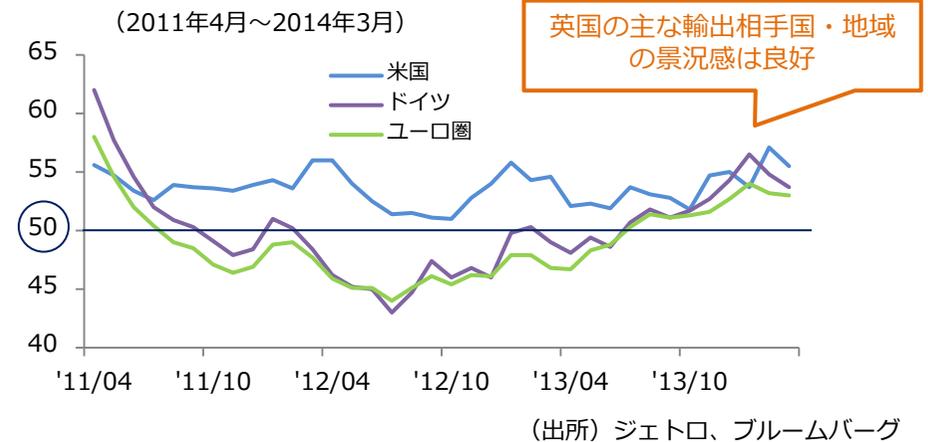
※使用した指数については、16ページ「当資料で使用した指数について」をご参照ください。

## 英国の輸出相手国・地域の景況感は良好

### <英国の輸出相手国・地域の内訳 (2012年)>



### <主な輸出相手国・地域のPMIの推移>



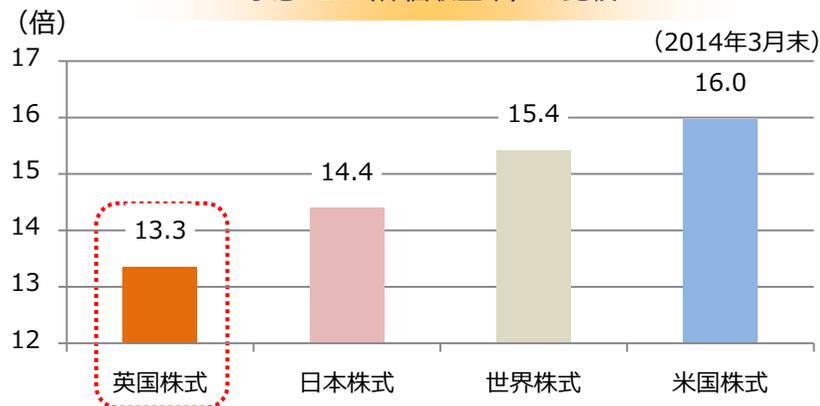
# 今後の上昇が期待される英国株式 ②

下記の企業はあくまでも参考のために掲載したものであり、個別企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組入れることを示唆・保証するものではありません。

- 足元の英国株式のPERは、主要先進国の中でも低い水準にあり、相対的に割安であると考えられます。
- また、PBRも過去平均を下回る水準にあり、株価バリュエーションの面からも今後の上昇余地は大きいと考えられます。

## 株価バリュエーション

予想PER（株価収益率）の比較



PBR（株価純資産倍率）の推移



※使用した指数については、16ページ「当資料で使用した指数について」をご参照ください。

英国株式市場は、世界有数の規模を誇り、高い国際競争力を有する多国籍企業が多いことが特徴です。

英国株式市場  
について

### ■ 世界の取引所ランキング

順位	取引所	時価総額 (兆円)
1	ニューヨーク証券取引所	1,890
2	ナスダックOMX	641
3	日本取引所グループ (東証)	478
4	ロンドン証券取引所グループ	466
5	欧州NYSEユーロネクスト*	377

2013年末時点

\*欧州NYSEユーロネクストは欧州における複数の取引所（フランス、オランダ、ベルギーなど）を運営。

2014年3月末時点

\*時価総額ランキングは、FTSE100の構成銘柄に基づいて作成しています。

※時価総額は、2013年末のブルームバーグレートで円換算。

※時価総額は、2014年3月末のブルームバーグレートで円換算。

### ■ 英国企業時価総額ランキング\*

順位	企業	業種	時価総額 (兆円)
1	ロイヤル・ダッチ・シェル	エネルギー	24.7
2	HSBCホールディングス	金融	19.7
3	BHPピリトン	素材	17.9
4	BP	エネルギー	15.2
5	グラクソ・スミスクライン	ヘルスケア	13.3
6	ユニリーバ	生活必需品	12.9
7	ブリティッシュ・アメリカン・タバコ	生活必需品	10.8
8	リオ・テイント	素材	10.8
9	ボーダフォン・グループ	情報通信サービス	10.0
10	ロイズ・バンキング・グループ	金融	9.2

(%)

### ■ 英国株式の業種別配当利回り



※業種は、GICS（世界産業分類基準）分類。

(出所) 世界取引所連合 (WFE)、ブルームバーグ

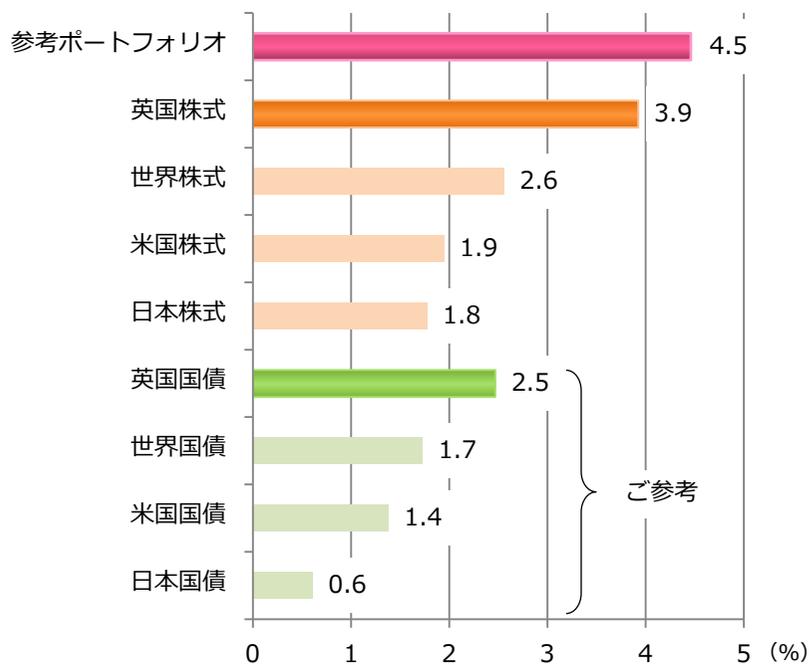
# 英国の高配当株式について – “相対的に高い利回り”と“良好なパフォーマンス”

(注) 参考ポートフォリオは、当ファンド設定後の実際の運用に適用されるとは限りません。

- 英国株式の配当利回りは、他の先進国の資産に比べ相対的に高い水準です。
- 配当利回りの高い銘柄に着目した高配当株式運用は、中長期的に良好なパフォーマンスが期待できます。

## 各資産の利回り比較

(2014年3月末)



株式・国債の利回りは、各指数の配当利回り、最終利回りを表示。

## 英国の高配当株式のパフォーマンス

(1994年3月末～2014年3月末)



※高配当株式の超過収益は、英国高配当株式と英国株式の差です。

## – 高配当株式の魅力 –

### 値上がり益

高配当企業には、健全な財務内容や好調な企業業績などから、持続的な成長が期待できる銘柄が多くあります。



### 配当収益

株式を保有することで企業から還元される収益です。配当収益は長期投資をすることで大きな魅力となります。

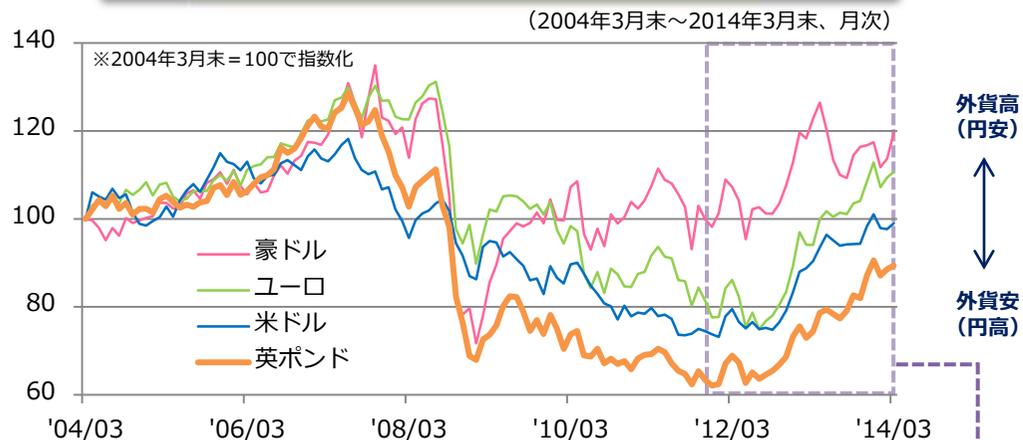
※外貨建資産には為替リスク等があります。税金等諸費用は考慮しておりません。  
 ※使用した指数については、16ページ「当資料で使用した指数について」をご参照ください。

(出所) ブルームバーグ

# ファンダメンタルズの改善に伴う、英ポンドの上昇期待

- 足元の英ポンドは堅調な推移をみせており、今後も経済指標の改善に伴い、さらなる上昇が期待されます。
- 通常、為替相場と金利差には連動性がみられます。今後、英国経済の力強い回復が確認され、イングランド銀行による金利引き上げから日英金利差が拡大していくようであれば、英ポンドのさらなる上昇が期待されます。

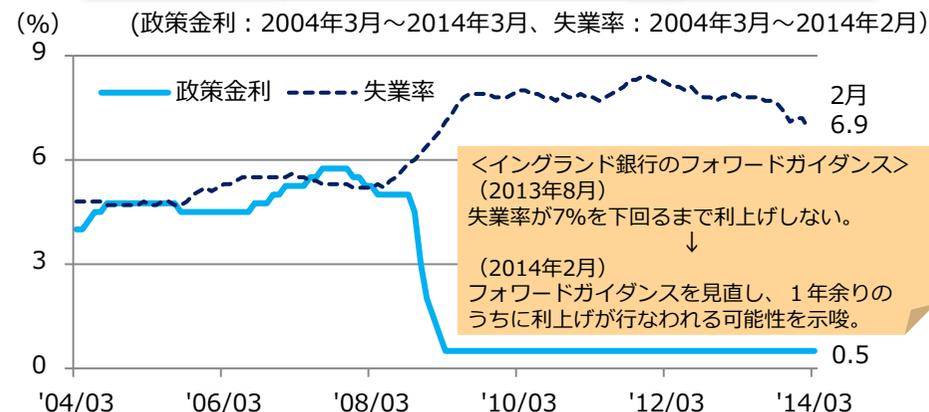
## 各国・地域の為替レート（対円）の推移



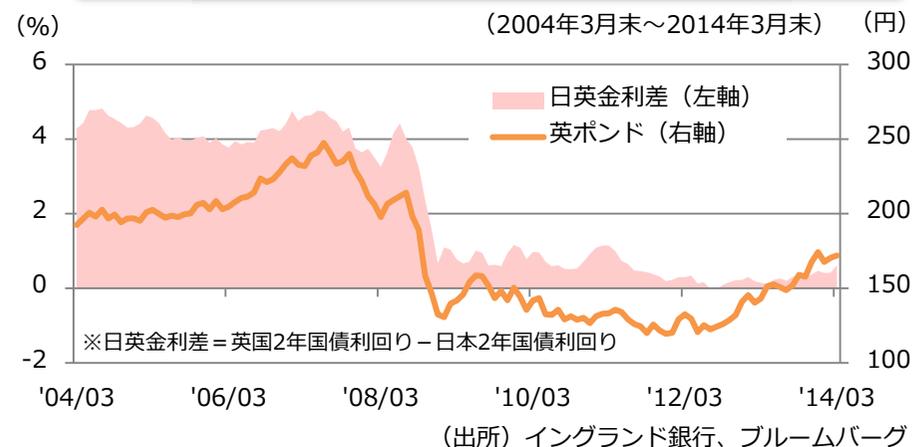
## 英ポンド（対円）の推移



## 政策金利と失業率の推移



## 日英金利差と英ポンド（対円）の推移



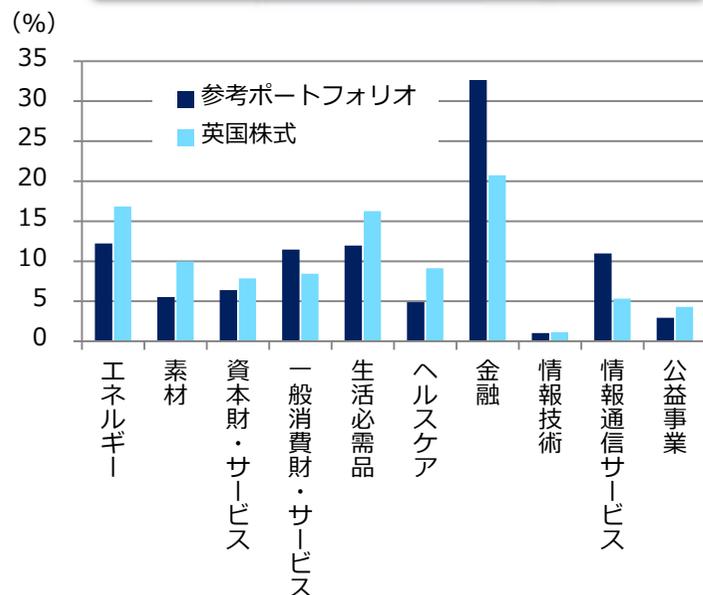
# 参考ポートフォリオ (2014年3月末)

(注) 参考ポートフォリオは、当ファンド設定後の実際の運用に適用されるとは限りません。

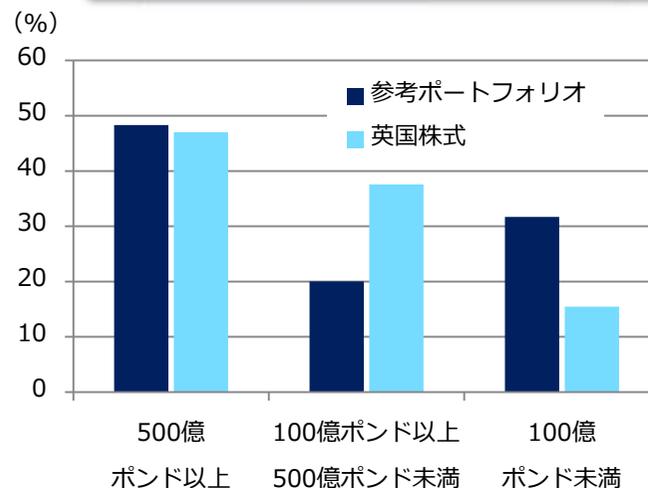
## ポートフォリオ特性値

予想PER (倍)	12.6
実績PBR (倍)	2.0
来期予想EPS成長率 (%)	11.0
予想配当利回り (%、課税前)	4.5
銘柄数	39

## 業種別構成比率



## 規模（時価総額）別構成比率



## ポートフォリオ構築プロセス

### 英国の株式等

時価総額や流動性等を勘案

### 投資対象銘柄

予想配当利回り、企業の利益成長性、財務内容等を分析

### 組入候補銘柄

業種や銘柄の分散、株価バリュエーションを勘案

## ポートフォリオ

※業種は、GICS（世界産業分類基準）分類。

※使用した指数については、16ページ「当資料で使用した指数について」をご参照ください。

(出所) ブルームバーグ

# 当ファンドにおける、高配当株式運用の特徴

- 足元の配当利回りだけでなく、中長期的にみて投資家に高い配当を還元することが期待できる企業に投資します。
- 銘柄の選定にあたっては、配当の成長性や確実性、継続性などの“配当の質”に注目します。

## 「配当利回り」の構成要素を多面的に評価

$$\text{配当利回り (\%)} = \frac{\text{配当}}{\text{株価}} = \frac{\text{利益}}{\text{株価}} \times \frac{\text{配当}}{\text{利益}}$$

益回り

配当性向

### 対象企業の収益性

- ✓ 「バリュエーション」  
株価は割高ではないか？
- ✓ 「利益成長」  
利益成長を通じた配当の成長が期待できるか？
- ✓ 「キャッシュフロー」  
利益成長だけでなく、キャッシュフローは良好であるか？

### 対象企業の配当の考え方

- ✓ 「資本政策」  
株主還元を重視しているか？
- ✓ 「資本効率」  
効率的に収益を実現しているか？
- ✓ 「金利負担」  
金利変動が配当に与える影響はどうか？
- ✓ 「財務健全性」  
業績悪化時にも継続的な配当が可能か？

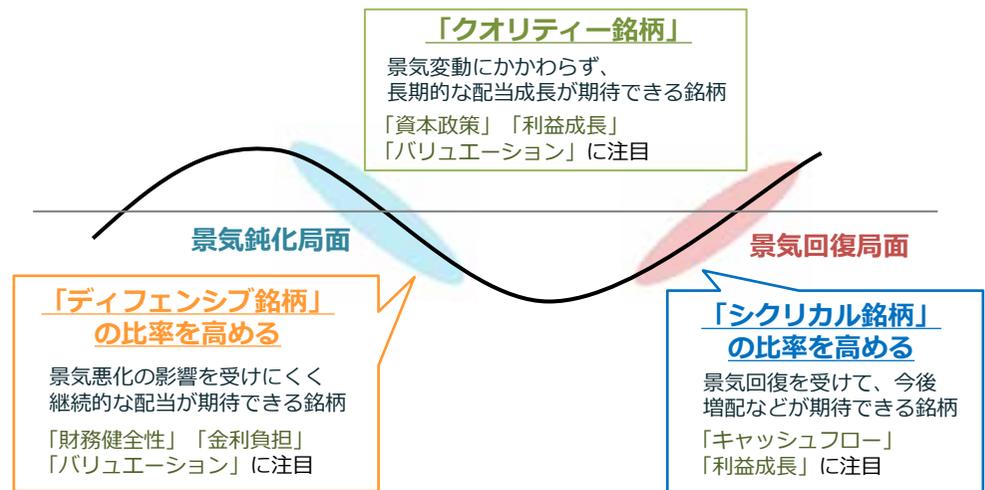
## 当ファンドが着目する3つのタイプの高配当銘柄

- シクリカル銘柄** 経済環境の改善を受けて、今後増配などが期待できる銘柄
- クオリティ銘柄** 強固な事業基盤を持ち、長期的な配当成長が期待できる銘柄
- ディフェンシブ銘柄** 安定的な事業構造を持ち、継続的な配当が期待できる銘柄

期待リターン	推定リスク	配当利回り
高	高	中～高
中	中	中～高
低	低	中～高

※上記はイメージであり、実際とは異なる場合があります。

### 《景気や市場動向をみながら配分を調整》



※上記はイメージであり、実際とは異なる場合があります。

# (ご参考) 英国企業のご紹介

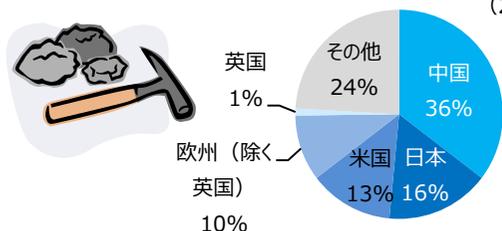
下記の企業はあくまでも参考のために掲載したものであり、個別企業の推奨を目的とするものではありません。  
また、ファンドに今後組入れることを示唆・保証するものではありません。

## リオ・ティント

業種：素材

地域別売上高比率

(2013年)



### 企業概要

リオ・ティントは国際的な鉱山会社です。アルミニウム、ホウ砂、石炭、銅、金、鉄鋼石などの鉱山事業に出資しています。オーストラリア市場にも上場しています。

### 株価とEPSの推移



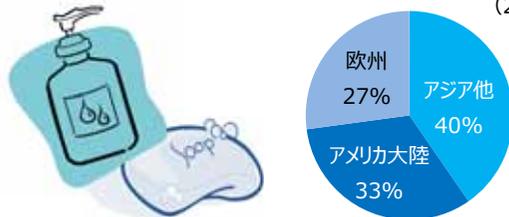
予想配当利回り：3.5%

## ユニリーバ

業種：生活必需品

地域別売上高比率

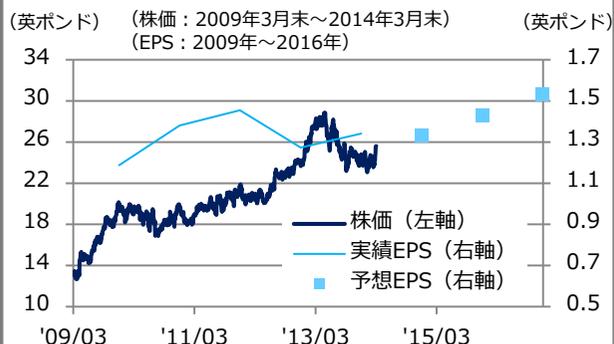
(2013年)



### 企業概要

ユニリーバは、消費者向けブランド品、パッケージ品メーカーです。食品、洗剤、香料、家庭・パーソナルケア用品などを手掛けています。

### 株価とEPSの推移



予想配当利回り：3.8%

## グラクソ・スミスクライン

業種：ヘルスケア

地域別売上高比率

(2013年)



### 企業概要

グラクソ・スミスクラインは、医薬品メーカーです。ワクチン、処方薬、市販薬、ヘルスケア関連消費者向け製品を開発、製造、販売しています。

### 株価とEPSの推移



予想配当利回り4.9%

※予想EPSおよび予想配当利回りは、ブルームバーグが集計したアナリスト予想の平均値（2014年3月）。  
※業種は、GICS（世界産業分類基準）分類。

（出所）ブルームバーグ

# ファンドの特色

## 英国高配当株

相対的に配当利回りの高い英国の株式等に投資します。

※株式等にはリート(不動産投資信託)を含みます。

- 英国の株式等の中から、時価総額や流動性等を勘案して投資対象銘柄を選定します。
- 投資対象銘柄の中から、予想配当利回り、企業の利益成長性、財務内容等を分析し、組入候補銘柄を選定します。
- 組入候補銘柄から、業種や銘柄の分散、株価バリュエーションを勘案してポートフォリオを構築します。

英国の株式等の運用については、ダイワ・アセット・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドの助言を受け、大和証券投資信託委託株式会社が行ないます。

## マネー・ポートフォリオ

わが国の公社債を中心に投資します。

- 組入れにあたっては、取得時に第二位(A-2格相当)以上の短期格付けであり、かつ残存期間が1年未満の短期債、コマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。

- 当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行なわれないことがあります。

## スイッチング(乗換え)について

- 「英国高配当株」と「マネー・ポートフォリオ」との間でスイッチング(乗換え)を行なうことができます。
- 「マネー・ポートフォリオ」の購入は、スイッチング(乗換え)による場合のみとなります。

## 《分配について》

毎年5月17日および11月17日(休業日の場合、翌営業日)に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

(注)第1計算期間は、平成26年11月17日(休業日の場合、翌営業日)までとします。

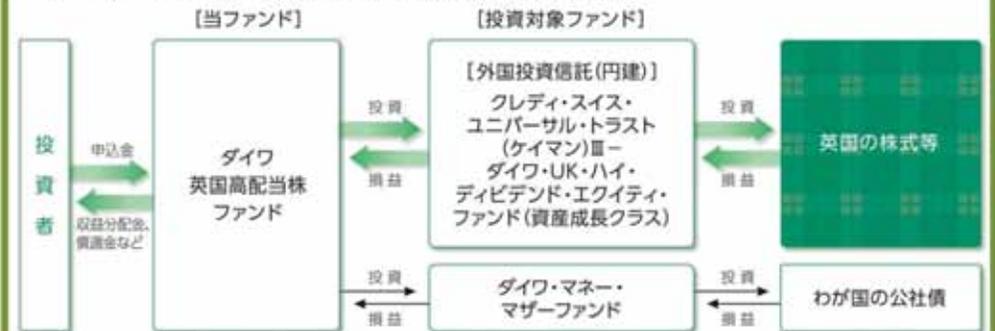
### 分配方針

- ◆分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます)等とします。
- ◆原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

## 《ファンドの仕組み》

### 英国高配当株

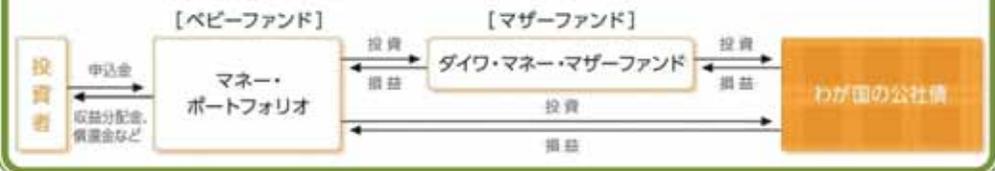
- 「英国高配当株」は、以下の2本の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。
- 外国投資信託の受益証券を通じて、英国の株式等に投資します。



- 当ファンドは、通常の状態では、投資対象とする外国投資信託への投資割合を高位に維持することを基本とします。
- 為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。

### マネー・ポートフォリオ

- 「マネー・ポートフォリオ」は、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、投資者のみなさまからお預かりした資金をまとめてベビーファンド(マネー・ポートフォリオ)とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。なお、ベビーファンドからわが国の公社債への直接投資を行なうことができるものとします。



※投資対象ファンドについて、くわしくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資対象ファンドの概要」をご覧ください。

# 投資リスク ①

## ◆ 基準価額の変動要因

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金とは異なります。

<b>主な変動要因</b> -英国高配当株-	※基準価額の変動要因は、下記に限定されるものではありません。
<b>価格変動リスク・信用リスク</b>	組入資産の価格が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。
<b>株価の変動</b>	株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動します。発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。
<b>リートの価格変動</b>	リートの価格は、不動産市況の変動、リートの収益や財務内容の変動、リートに関する法制度の変更等の影響を受けます。
<b>為替変動リスク</b>	外貨建資産については、資産自体の価格変動のほか、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。組入外貨建資産について、当該外貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。
<b>カントリー・リスク</b>	投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想外に下落したり、方針に沿った運用が困難となることがあります。
<b>その他</b>	解約資金を手当てするため組入証券を売却する際、市場規模や市場動向によっては市場実勢を押下げ、当初期待される価格で売却できないこともあります。この場合、基準価額が下落する要因となります。

<b>主な変動要因</b> -マネー・ポートフォリオ-	※基準価額の変動要因は、下記に限定されるものではありません。
<b>公社債の価格変動</b> (価格変動リスク・信用リスク)	公社債の価格は、一般に金利が低下した場合には上昇し、金利が上昇した場合には下落します。また、公社債の価格は、発行体の信用状況によっても変動します。特に、発行体が債務不履行を発生させた場合、またはその可能性が予想される場合には、公社債の価格は下落します。組入公社債の価格が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。
<b>その他</b>	解約資金を手当てするため組入証券を売却する際、市場規模や市場動向によっては市場実勢を押下げ、当初期待される価格で売却できないこともあります。この場合、基準価額が下落する要因となります。



# 投資リスク ②

## ◆ その他の留意点

当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

## ◆ リスクの管理体制

委託会社では、取締役会が決定した運用リスク管理に関する基本方針に基づき、運用本部から独立した部署および会議体が直接的または間接的に運用本部へのモニタリング・監視を通し、運用リスクの管理を行ないます。

### 当資料で使用した指数について

英国株式：FTSE100指数、英国高配当株式：FTSE350 Higher Yield Index、世界株式：MSCI WORLDインデックス、米国株式：S&P500指数、日本株式：TOPIX、  
英国国債：シティ英国国債インデックス、世界国債：シティ世界国債インデックス（日本除く）、  
米国国債：シティ米国国債インデックス、日本国債：シティ日本国債インデックスをそれぞれ使用。

- ・MSCI インデックスはMSCI Inc.が開発した指数です。MSCI公表データに関する著作権、知的財産権、その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。
- ・TOPIXは株式会社東京証券取引所が算出・公表などの権利を有する指数です。
- ・シティ債券インデックスはシティグループ・グローバル・マーケッツ・インクが開発した指数です。

# ファンドの費用

当ファンドのご購入時や運用期間中には以下の費用がかかります。(消費税率8%の場合)

## お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料	購入金額に右記の購入時手数料率を乗じて得た額とします。 購入金額：(申込受付日の翌営業日の基準価額/1万口) × 購入口数 (当初1万口=1万円) ※「マネー・ポートフォリオ」の購入は、スイッチング(乗換え)による場合のみとなります。
信託財産留保額	ありません。
スイッチング手数料	購入金額に <u>0.54%(税込)</u> の率を乗じて得た額とします。 「マネー・ポートフォリオ」の購入には、スイッチング手数料はかかりません。
(ご参考) 口数指定で購入する場合 例えば、基準価額10,000円の時に100万口ご購入いただく場合は、次のように計算します。 購入金額=(10,000円/1万口) × 100万口=100万円 購入時手数料=購入金額(100万円) × 3.24%(税込)=32,400円 となり、購入金額に購入時手数料を加えた合計額103万2,400円をお支払いいただくこととなります。 金額指定で購入する場合 購入金額に購入時手数料を加えた合計額が指定金額(お支払いいただく金額)となるよう購入口数を計算します。 例えば、100万円の金額指定で購入する場合、指定金額の100万円の中から購入時手数料(税込)をいただきますので、100万円全額が当該投資信託の購入金額とはなりません。	

## 購入時手数料率

購入金額	手数料率(税込)
1億円未満	<u>3.24%</u>
1億円以上5億円未満	<u>1.62%</u>
5億円以上10億円未満	<u>1.08%</u>
10億円以上	<u>0.54%</u>

## お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

	英国高配当株	マネー・ポートフォリオ
運用管理費用 (信託報酬)	毎日、信託財産の純資産総額に対して <u>年率1.323%(税込)</u>	毎日、信託財産の純資産総額に対して係る率は、各月ごとに決定するものとし、各月の1日から各月の翌月の1日の前日までの当該率は、 <u>各月の前月の最終5営業日における無担保コール翌日物レートの平均値に0.54(税込)</u> を乗じて得た率とします。ただし、当該率が <u>年率0.972%(税込)</u> を超える場合には、 <u>年率0.972%(税込)</u> とします。
投資対象とする 投資信託証券	年率0.515%程度	
実質的に負担する 運用管理費用	<u>年率1.838%(税込)程度</u>	
その他の費用・ 手数料	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。 ※「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。	

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。また、上場不動産投資信託は市場価格により取引されており、費用を表示することができません。  
※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「ファンドの費用・税金」をご確認ください。

# お申込みメモ ①

購入単位	1,000円以上1円単位*または1,000口以上1口単位 なお、「マネー・ポートフォリオ」の購入は、スイッチング(乗換え)による場合のみとなります。 *購入時手数料および購入時手数料に対する消費税等に相当する金額を含めて、上記の単位でご購入いただけます。 ※ただしスイッチングの場合は、1口単位です。
購入価額	当初申込期間:1万口当たり1万円 継続申込期間:購入申込受付日の翌営業日の基準価額(1万口当たり)
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額(1万口当たり)
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
申込受付中止日	「英国高配当株」: ① ロンドン証券取引所またはロンドンの銀行のいずれかの休業日 ② ①のほか、一部解約金の支払い等に支障を来すおそれがあるとして委託会社が定める日 ただし、購入申込については、当ファンドの運営および受益者に与える影響を考慮して受付けを行なうことがあります。 (注)申込受付中止日は、販売会社または委託会社にお問合わせください。
申込締切時間	午後3時まで(販売会社所定の事務手続きが完了したもの)
購入の申込期間	「英国高配当株」: 当初申込期間:平成26年5月14日から平成26年5月29日まで 継続申込期間:平成26年5月30日以降 「マネー・ポートフォリオ」: 平成26年5月30日以降
設定日	平成26年5月30日
当初募集額	「英国高配当株」:1,050億円を上限とします。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行なうために大口の換金申込には制限があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止(「英国高配当株」のみ)その他やむを得ない事情があるときは、購入、換金の申込みの受付けを中止することがあります。
スイッチング(乗換え)	「英国高配当株」と「マネー・ポートフォリオ」の間でスイッチング(乗換え)を行なうことができます。
信託期間	平成26年5月30日から平成31年5月17日まで(受益者に有利であると認めるときは、受託会社と合意のうえ、信託期間を延長できます)

# お申込みメモ ②

繰上償還	<p>「英国高配当株」: 主要投資対象とする組入外国投資信託が存続しないこととなる場合には、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了（繰上償還）させます。</p> <p>「英国高配当株」および「マネー・ポートフォリオ」: 次のいずれかの場合には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、繰上償還できます。 ◇受益権の口数が30億口を下回るようになった場合 ◇信託契約を解約することが受益者のために有利であると認めるとき ◇やむを得ない事情が発生したとき</p> <p>「マネー・ポートフォリオ」: 「英国高配当株」が繰上償還となる場合には、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、繰上償還させます。</p>
決算日	<p>毎年5月17日および11月17日（休業日の場合、翌営業日） （注）第1計算期間は、平成26年11月17日（休業日の場合、翌営業日）までとします。</p>
収益分配	<p>年2回、収益分配方針に基づいて収益の分配を行いません。 （注）当ファンドには、「分配金再投資コース」と「分配金支払いコース」があります。 「分配金再投資コース」をご利用の場合：収益分配金は、税金を差引いた後、無手数料で自動的に再投資されます。 「分配金支払いコース」をご利用の場合：収益分配金は、税金を差引いた後、原則として決算日から起算して5営業日までにお支払いします。</p>
信託金の限度額	各ファンドについて3,000億円
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。配当控除、益金不算入制度の適用はありません。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です（平成26年1月1日以降）。なお、当ファンドの非課税口座における取扱いは販売会社により異なる場合がありますので、くわしくは、販売会社にお問合わせください。

委託会社	大和証券投資信託委託株式会社	受託会社	三井住友信託銀行株式会社	販売会社	大和証券株式会社
------	----------------	------	--------------	------	----------